

2025 年 都立 立川高校 普通科 一般入試合格 T・H さん

中学三年生になり、高校受験の勉強をはじめなきゃと思っていました。ですが、目標としている高校が自校作成校だったということもあり、なにをどうしていいのかさっぱり分かりませんでした。そのとき、友達が通っている関塾が紹介されたので、体験授業にいったのです。すると、自分の志望校にむけてプランをたててくれたり、苦手な数学もカバーしてくれる塾長がいたので、関塾にはいることにしました。

関塾に入り、私は数学と英語の授業を受けていました。特に数学です。私は本当に数学が好きではないし、苦手だったのです。ですが、数学を担当してくれた塾長に助けられながら、本当に苦労して夏休み中に三年生の範囲を終わらせ、問題集を冬に三週目をしていました。

英語は山崎先生に教えてもらいました。はじめは文法から丁寧にとても優しく教えてくれて、すぐに理解することができました。過去問を解いたり英作文を書いたりするときも、細かいところまで教えてくれて、本当に助かりました。

国語は途中から習い始め、最初はがむしゃらに読んでいた文章も読み方を教えてもらったら、より理解が深まりました。塾長に教えてもらったのですが、塾長とする論説文や現代の話がとても面白くて、自分の人生の幅が広がった気がします。

そして、やるべきことをやり、自分の全力を出し切って受験を受けることができました。その後、自己採点をしてみたら、数学は自分の解ける範囲で解け、英語は苦手な文法問題ができていて、国語はなんと物語文と教えてもらった論説文が満点でした。目標としていた点数を数十点も超えられて、本当に良かったです。

そして、結果は合格でした。関塾に入り、先生方に勉強面で支えてもらったのはもちろん、受験への不安な気持などの精神面でも助けられました。そのおかげで自分の全力を出し切り、納得のいく結果になったと信じています。関塾には本当にお世話になりました。ありがとうございました。

2025 年 明治大学 農学部 自己推薦入試合格 N・K くん

私は明治大学農学部生命科学科の自己推薦入試に関塾のサポートを受け合格することができました。

私は中学 1 年生で英語の点数が伸び悩み、関塾に入塾しました。中学の英語の点数も安定してとれるようになり、高校に入ってから英語ではテストの点数で悩むことはなくなりました。高校二年生頃からは、実用英語検定 2 級所得のため、英文法や長文を読むトレーニングを行っていただきました。ここで取得した英検二級は、一般受験での試験免除や推薦受験で大いに役立ちました。

明治大学の推薦受験の一次試験では、自己 PR、志望理由書、選考課題の作成を指導していただきました。自己 PR では、書いた話が抽象的すぎたため、具体的な話にしたほうが良いなど、読み手に伝わりやすい文章の作成方法を教わりました。志望理由書では、ほかの大学ではいけない理由といった部分を意識して文を作成するよう指導いただき、納得のいく文章を作成することができました。選考課題では、本を読みそこから学んだことと、大学でどう生かしていくのかが問われました。どのような本が良いのかの相談や、その本の筋や主張をつかむ手助けをしていただきました。説得力のある文章の作成方法を教わり、自分の伝えたいことを綺麗にまとめることができました。

二次試験では、模擬授業を受けてそれに対するテストの対策をメインに指導いただきました。授業を聞きながら内容をメモするコツや、その話の中の掴むべきポイントの見つけ方を指導していただきました。はじめは授業内容すべてをメモしようとしたり、逆に要点を掴むことができないこともありましたが、塾の先生が模擬テストを作成してくれたり、自分でメモをとる練習を教えてくださいましたことで、本番でも自信を持ってテストに臨むことができました。

私が今回明治大学農学部生命科学科に合格することができたのは、入塾から今までのサポートがあったからです。中学の頃英語で躓いたままだったら、大学受験はおろか、高校英語でも苦戦していたと思います。この塾で教えていただいたことを、大学生活や社会に出てからも活かしていきたいと思っています。

2024年 明星大学 経営学部 総合型選抜 合格 M・Mさん

私が総合型選抜を受験しようと思ったのは、7月末の少し遅い時期で、高校の小論文対策講座を受けることができませんでした。そのため、高校受験の際もお世話になった関塾で徹底的に総合型選抜の対策をしようと考えました。総合型選抜を受けるにあたって、小論文と面接対策はもちろん、志望理由書をしっかり書くことがとても大事なことだと感じていました。

初めに志望理由書を考えました。正直、総合型選抜を受けるまで、将来自分が何をしたいのか深く考えたことがありませんでした。そして、それを考えたうえで、なぜその大学でなければならないのか、その大学で何を学びたいのか明確に書くのがとても大変でした。大学についてよく知るためには、オープンキャンパスに参加し、実際に見たり、聞いたりすることや、教授や学生の方に授業の内容などについて質問することが必要不可欠だと感じました。これらのことについて深く考え、志望理由書を書くことが面接対策につながりました。

小論文は、大学の過去問や他大学の過去問、先生が考えてくださった問題を使用して、対策しました。実際に書く前に、先生と書き方の要点についての整理やアイデア出しを行いました。その後、自分で書いたものを先生に添削してもらい、改善点などを教えていただきました。また、小論文は何度も書き、慣れていくことも大事ですが、日ごろからニュースを見たり、新聞を読んだりすることで、自分の中の知識を増やしていくことも大事だということが分かってきました。

面接対策は塾でもしていただきましたが、主に学校の先生と練習しました。その分塾では、小論文対策を多めに行うことができました。自分で面接ノートを作り、よく聞かれる一般的な質問から自分で考えた聞かれそうな質問までを書き出し、それに対する自分なりの答えを書いていきました。聞かれたことにしっかり答えることも重要ですが、面接官に良い印象を持ってもらうような動作や表情、話し方も大切だということを教わりました。

志望理由書、小論文、面接これら3つの総合型選抜対策をどのようにすすめていくかを先生と話し合い、自分に足りないことは何かを考えながら決めていくことで、自分に合った対策ができました。

本番の小論文は、例年と傾向が変わって少し焦りましたが、落ち着いて時間内に書き終えることを意識しました。面接はすごく緊張してしまい、自分が思っていた通りに話すことは難しかったですが、面接官の目をよく見て話すことを意識しました。合否発表までの間は本当に怖くて、毎日受験日のことを思い返しては、不安でいっぱいでした。合否発表当日、合格の文字を見た瞬間、本当にうれしかったです。少し遅い時期からの総合型選抜への対策でしたが、短期間で集中し、合格につなげることができました。総合型選抜を受験したことが、大学でなにをしたいのか、さらに自分自身について深く考える機会になり、大学に行く目的を自分の中で見つけることができました。

2024 年 都立 多摩科学技術高校 推薦入試 合格 O・R さん

関塾には中学入学と同時に入塾しました。学校の授業で理解出来ないところがあると、塾の先生は私が理解できるまで丁寧に教えてくれて、テストでは良い点を取り続けることができました。その結果、志望校の雅横隔基準である内申点より高い内申点で推薦を受けられました。多摩科学技術高校の推薦入試にはプレゼンテーション実技があります。3 分間で中学校の授業や課外活動または日常生活などにおいて興味関心をもったことをテーマにプレゼンするというものです。まず塾の先生とプレゼンする内容を考えました。試験官の興味をひける内容にしたいと思い、たくさん悩み、いくつか案を出しました。その中で特に思い入れがあり、みなさんに広めていきたいと思った、祖母直伝のお茶であり薬でもあるタンポポ茶の作り方とその薬効についてプレゼンすることに決めました。先生はタンポポの薬効に関する論文を紹介してくれたり、論文の説明を理解するにあたって必要である知識を高校の範囲の教科書を使って教えてくれたり、私が推薦入試で合格できるように精一杯協力してくれました。プレゼンや面接の練習ではまだまだよくできる点を指摘してくれて練習を重ねるごとに自分でも上達しているのが分かりました。本番はたくさん練習をした事が自信になり緊張せず自分の力を最大限発揮出来ました。合格が発表されたときはとてもうれしかったです。自信が付くまで何度も練習に付き合ってくれた先生、一般入試に向けた授業をしてくれた先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。高校では、課題研究に特に力を注ぎ人の役に立つための技術をより多く身につけていきたいです。

2022 年 都立 国分寺高校合格 A・O さん

私は中学 3 年生の夏頃に入塾しました。それまでは受験勉強は何をすればいいかわらず、数学と英語について、学校の評定では4を取れていたものの、模試の点数が他の科目に比べて低いということが課題でした。初めて塾に行って面談した時に、考えていた高校の特徴や今後の勉強の仕方などをまとめていただいたことがとても印象的で、ここなら自分に合った勉強を教えてもらえると思い、この塾にはいることにしました。

苦手意識のあった数学と英語を中心に途中から国語の授業も受けました。数学はまず、「語りかける数学」という解説の詳しい参考書を渡してもらい、家でそれを読んだ後、「新中学問題集」という問題集で指示された範囲を解き、分らなかったり、間違えた問題を授業で解説してもらいました。そうやって、9 月頃には中学の教科書内容を終わらせた後、「塾技」という教材でコツやポイントを学び、その後はひたすら過去問演習をしていました。ケアレスミスが多いということで、基礎的な計算問題の練習も同時にやっていました。図や途中式を書かずに解いてしまう癖がなかなかなくならなかったのですが、くり返し教えていただくことで直前期にはかなり改善することができました。

英語は速読のために「長文読解の達人」という本でスラッシュリーディングという技法を学んだ後、「ハイパートレーニング」などの教材で、長文の音声を聞きながら音読をするトレーニングを大量に積み重ねていきました。夏休み明けの模試ではとても点数が悪くて焦りましたが、続けていくと長文に慣れ、次の模試では 40 点ほど点数をあげることが出来ました。苦手の数学と英語が安定したことで国分寺高校の評価が A 判定となり、試験本番直前の模試では S 判定を取ることができました。英語の過去問では文章の多さ、難しさに苦戦しましたが、一問ずつ考えてくださり、捨て問(すてもん:試験本番で解かなくてもいい問題)を作ることで安定するようになりました。国語は苦手な論説文に絞り、読み方や選択肢の選び方をおしえていただきました。

入試本番では数学に失敗し、他の教科もいつも通りの力を出すことができなかったのですが、なんとか合格をいただくことができました。とても嬉しかったです。塾に入ったことで自分のやるべきことが分り、勉強することができました。第一志望に合格できたのも先生方のおかげだと思います。ありがとうございました。

2023 年 帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科 総合選抜 合格

O・Mさん

私は高校二年の四月に入塾しました。高校生になってから私は勉強量の多さ、勉強内容の難しさに困っていました。中学生までには勉強に自信がありましたが、高校に入学してから初めて勉強に対して苦手意識を持つようになりました。高校一年生の頃のテストの点数はいつも平均点以下でした。時には赤点をとることもあり、ひどく落ち込みました。前まで得意だった数学や理科にも苦手意識を持つようになりました。しかし私には夢がありました。幼いころから臨床検査技師という医療職に就くことを目指していたため、理系科目や英語を絶対に極めなければなりませんでした。高校一年生の一年間で自分に合う勉強法を探すため、いろいろな勉強法や参考書を試しましたがテストの点が上がらなかったため、入塾を決めました。

授業では数学と英語を教えてくださいました。高校一年生の時に苦手意識を持っていた数学は二年生になってから毎回平均点以上の点数をとれるようになりました。英語は、はじめは文の構造や速読の仕方も分らなかったのですが、練習を繰り返す中で、英文を返り読みをせずにスラスラ読めるようになっていきました。授業が無い日も塾に行き自習をしていました。

数学の授業で特に印象に残っているのは、先生から、自分がいままで、ただがむしゃらに量をこなす勉強をしていて、なぜそのやりかたで問題をとくのかを理解していないという指摘をいただいたことでした。それまで私は初めてみる問題に出会うとどう解けばいいのかわからなくなることが多かったのですが、それは公式を使うときになぜその公式を使うのか、あいまいなままで問題を解いていたことが原因でした。授業では私が先生にどんな質問をしても、先生はその問題をとくための公式の成り立ちから、どのようなときにその公式を使うのかまでわかりやすく解説してくださったため、疑問だった点もしっかり理解することができました。

英語については塾で教わるまでは私は英文をフィーリングで読んでいたことが多かったため、英文法の復習、英文法の知識を使つての構造分析、構造分析をして訳せるようになった英文の音読という順番で一から教えていただきました。

受験前には志望校のテストの傾向を考え、それにあった授業や面接対策もしてくださいました。受験本番は、抜け目なく勉強していたおかげで、自信を持って試験に臨むことができました。

しかし、受験前はずっと勉強に集中できたわけではなく、勉強することが辛くなったり、落ちこんだりすることがありました。そんな時は一回勉強の事を考えるのを止め、好きなことをしてリフレッシュしていました。精神的に不安定になる時期ではありますが、心身ともに健康でいられるように大切だと実感しました。

塾には入って苦手科目を得意にでき、結果として志望校に合格できて本当に良かったです。先生には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。